

報道関係者各位

「ニンテンドー3DS™」向けに5タイトルを開発

株式会社バンダイナムコゲームス

社 長：石川 祝男

本 社：東京都品川区東品川4-5-15

資 本 金：150億円

株式会社バンダイナムコゲームスは、任天堂株式会社が2011年3月期に発売を予定している、裸眼立体視でゲームが楽しめる新型の携帯型ゲーム機「ニンテンドー 3DS™」に対応したソフト 5 タイトルの開発を進めています。

現在、開発および発売を予定しているタイトルは以下の通りです。

「リッジレーサー(仮称)」

スピード感あふれるレースゲーム『リッジレーサー』を立体視仕様にアレンジし、新要素をプラス。

「パックマン&ギャラガ(仮称)」

オリジナルの「パックマン」と「ギャラガ」に加え、「ニンテンドー3DS」向けの新しいアイデアによる新作も収録。

「ガンダム・シリーズ(仮称)」

立体視ならではのシステムや遊び方を取り入れた『ガンダム』シリーズ最新作。

「ドラゴンボール・シリーズ(仮称)」

立体視ならではのシステムや遊び方を取り入れた『ドラゴンボール』シリーズ最新作。

「スーパーロボット・シリーズ(仮称)」

立体視ならではのシステムや遊び方を取り入れた『スーパーロボット』シリーズ最新作。

5タイトルとも、発売時期や価格などはすべて未定。

バンダイナムコゲームスでは、これまでの研究で蓄積したノウハウや技術を生かし、今後も 3D という新しい分野に対して積極的に取り組んでまいります。

なお今後の情報は、バンダイナムコゲームス公式ホームページなどで随時公開していきます。

【代表取締役副社長 鶴之澤伸のコメント】

2010年は3D元年と言われていますが、バンダイナムコゲームスではそれ以前から立体視で楽しめるさまざまなゲームの研究を行ってきました。今回、裸眼立体視にいち早く対応した「ニンテンドー3DS」の登場には驚くとともに、パブリッシャーとしては大きな可能性も感じています。

バンダイナムコゲームスでは今後、立体視だからこそ楽しめる新しい遊びを創り出し、お客様に驚きと感動を提供していきたいと思っています。どうぞご期待ください。

プレスリリースの情報は、発表日現在のもので、発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
※ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。



2010年「パックマン」は生誕30周年!

CHANGE the ENTERTAINMENT